

Mactel Debian の深遠なる世界

2006 年 7 月 15 日版

上川

2006 年 7 月 15 日

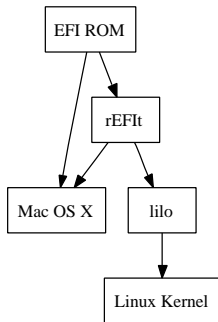
MactelLinux 現状の概要

- 新アーキテクチャ
起動部分は EFI

EFI という福音

	BIOS	EFI
パーティション	MBR:4 個 (「拡張」可能)	GPT: 128
ファイルシステム	魔窟	FAT を読める
実行フォーマット	なにそれ?	PE32+形式の実行ファイル

起動シーケンス



EFI コマンドライン

MS DOS 風味のコマンドラインが利用できるようになる。
ブートルード以前の段階でコマンドラインが利用できるように!

```
EFI> fs0:
```

```
EFI fs0:> cd EFI
```

```
EFI fs0:\EFI> cd dancer
```

```
EFI fs0:\EFI\dancer> cd refit
```

```
EFI fs0:\EFI\dancer\refit> dir
```

```
refit.efi
```

```
EFI fs0:\EFI\debian\refit> refit
```

できたこと

- rEFIt を Debian 上でコンパイルできるように
- refit Debian パッケージの作成、アップロード (375999)
- それっぽく動作試験
- gptsync コマンドの提供

できてないこと

- インストール手法の確立
- debian-installer への統合
- rEFIt でコンパイルできないツール多数
 - gptsync.efi が動作していない
 - gnu-efi の efilib がどうも古いようだ (376000)
- バイナリ配布されているツールの発見 (ソースはどこ?)
- elilo がうまくうごかない (376002)
- Debian のカーネルはよくカーネルパニックをおこす
(Linus の 7 月 2 日の git ツリーは安定動作、Mactel 用のパッチが多数マージされているようなのでお薦め)